



# いちいの会 だより

平成29年  
44号

発行/社会福祉法人 いちいの会 <http://www.ichiinokai.com>

ICHIINOKAI VOL. 44



無量寿院にて

## 新年度を迎えて

社会福祉法人いちいの会 理事長 児嶋 政明

みなさま、こんにちは。

4月1日から新年度に入りました。おかげさまで当法人は設立17周年を迎えます。この機会に昨年度を振り返るとともに、新年度についてご説明をします。

昨年10月には、当法人の創立とその後の発展に多大の貢献をされた初代理事長の桐山様が逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

昨年度は、給与制度を見直したことに加えて、くすのき苑では、長年の懸案であった屋内の改修工事を済ませ、安心カメラも設置できるなど、改善がすすみました。また、ワークショップでは、利用が増えて手狭になっていましたが、3号館を新設してゆとりができました。

次に新年度ですが、まず、土地の取得があります。くすのき苑の裏手のグループホームゆりの木やワークショップ3号館などがある土地は、従来借りていましたが、これを取得いたします。

くすのき苑では、中庭のところを増設して多目的室を作ります。スペースが増えて、支援がしやすくなります。また、安心・安全のために、玄関ホールに間仕切りを設けます。

一方、制度面では、社会福祉法が全面的に改正され、経営体制や財務などの面で規制が強化されるとともに、「地域における公益的な取組」が義務付けられました。当法人ではガバナンスや財務規律の強化・透明性の向上など対応を進めており、公益的な取組についても、既に相談センターで一部の検査を無償で提供していることに加えて、ワークショップでも利用者の負担金を軽減いたします。

本年度も役職員一同力を合わせて、設立理念の「利用者第一の充実した支援サービス」と「地域の期待への対応」を念頭に、努力を重ねていく所存ですので、みなさまには引き続きのご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、家族会及び後援会の会員のみなさまには、日頃より物心両面で暖かいご支援・ご協力をいただいております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



### ●目次●

- ◇理事長挨拶 …………… 1
- ◇後援会会長挨拶  
法人全体会 …………… 2
- ◇各事業所より …………… 3  
金城さんありがとう…4
- ◇行事・旅行 …………… 5
- ◇新任職員紹介  
行事報告  
編集後記 …………… 6

## 後援会会長 就任あいさつ

いちいの会後援会 会長 望月 雅文

皆様こんにちは。このたび後援会会長に選任された望月雅文です。「いちいの会」は平成11年7月26日に千葉県から社会福祉法人として正式に認可されました。療育を旗印とした自閉症児をもつ私を含む親たちの発起人会が、平成9年に当時の法人設立条件である自前の土地を取得しました。その後、資金および施設の両面から様々な準備を重ねてきた親たちが夢に向かいその第一歩を踏み出した日でもありました。夢の実現のためにも財政基盤をより強固なものにしようと「くすのき苑」開設前の平成12年4月に、発起人周辺の個人・法人で構成された後援会が設立され、今日まで法人の運営に寄与してきました。これもひとえに皆様のご後援のおかげと感謝いたしております。また、ご苦勞の多かった設立時から昨年度まで会長を務められた肥田さんのご尽力に対し厚くお礼申し上げます。



現在、くすのき祭や環境整備など直接利用者にかかわる支援を行う、くすのき苑・グループホーム・ワークショップの利用者の保護者らで構成される家族会と、施設・備品等の整備を通じて財政支援を行う後援会とが、車の両輪として法人を側面から支えています。これまで、後援会では皆様からお預かりした寄付金を法人からの要請に基づき援助してきましたが、後援会も間もなく一つの区切りである設立20年を迎えます。福祉を取巻く社会環境は設立当初と大きく様変わりして厳しいものがあります。また、利用者の多様化、高齢化も進み、それにとまなう支援をより効率化するためにも家族会との連携を深める必要があると考えています。

今後とも、皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

## 法人全体会

くすのき苑 副施設長 大谷 篤司



4月3日に法人全体会を開催しました。新しく仲間に加わってくれた職員、非常勤職員を含め、職員一同、新たな気持ちで年度のスタートを切る事ができました。

今年度は職員の給与規定の改定を行いました。基本給のベースアップをすることで、今、必死に頑張っている職員のモチベーションの向上と、次年度に向けて良い人材をリクルートするためにも効果的であると考えています。昨年度、ヤマト運輸が人手不足のために事業を縮小する等のニュースを聞き、日本全体が働き手不足になっていることを、改めて痛感しています。今後、どのように人材を確保し長く働いてもらうか、給与だけではなく、個々のキャリアアップや働きやすい職場環境の構築等、様々なことに力を入れていかななくてはなりません。

また、法人全体会では、厚生労働省から出されている冊子を参考にして現場の職員が講師となり、権利擁護の研修を行いました。今まで障害を持った方たちと関わったことがない新任職員はもちろんのこと、これまで経験を積んできた職員も、改めて日々の支援を見直す良い機会となったことと思います。

新年度に向けて、それぞれの職員が今まで重ねてきた経験を踏まえて、新しい仲間と素敵な現場の雰囲気を作り上げていくことができるはずです。

私達は、利用者の方のより良い生活の為に、よりオープンな施設の運営のため、尽力を惜しまずに取り組んでいく所存です。

## くすのき苑

くすのき苑 副施設長 大谷 篤司

くすのき苑で暮らしている利用者の方は、高齢、行動障害、身体障害、短期入所の児童も含め、多くの特性を持つ方々がいらっしゃいます。利用者が安心、安全に生活を送るためにも、それぞれの特性に合わせた環境を整えていく必要があります。支援の構築、創意工夫だけではなく環境面に関する改善していく必要性があり、その第一歩として、今年度、食堂周辺の中庭を増築することを計画しています。

今回の増築工事を進めていくにあたり、改めて感じたことがありました。図面として形にしていこうと、職員、設計業者や有識者と何度も何度も話し合いを繰り返し、ようやく形になっていくということです。

今日まで、沢山の課題がありました。決して話し合いの時間を無くそうとしていたわけではありませんが、簡略化しすぎていたのかも知れません。議論を何度も何度も繰り返していくことで、必然的にイメージが作り上げられていくのだと感じました。また、繰り返しの議論をすることで、職員皆が同じベクトルで支援を上げていくことができるのだと思いました。

私達は、まだ若い職員集団です。若いからこそ柔軟な考えと吸収する力、知ろうとする力を多く持っていることが、私達の強みでもあります。その皆の向上心が数年経った時に、様々な分野で知識と資質を兼ね備えた強いチームとなっている事を信じています。

## 中核地域生活支援センターのだネット 地域総合コーディネーター五十嵐 孝子

これまで長い間、地域総合コーディネーターを担ってきた金城さんは定年を迎え、4月からコーディネーターとして一緒に頑張ることになりました。私には地域総合コーディネーターは少し荷が重い役割ですが、これまでの経験を活かして、周りの方々に支えて頂きながら頑張っていきたいと思えます。

中核センターが平成16年10月に開設されてから10年以上経過し、その間、地域には地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、生活困窮のための相談窓口など様々な相談支援窓口の開設が進んできました。こうした状況を踏まえて要綱の改正が行われました。

事業の趣旨には、地域福祉のセーフティネットとして広域的、高度な専門性を持った寄り添い支援を行う観点から総合的な相談対応を行う事が明記されました。これまで培った実績を活かして専門的な支援ができるよう努力して行きます。

また、支援対象者として、制度の狭間にある方、複合的な課題を抱えた方、社会の変化から生じる新たな課題により生活不安を抱えた方を分野横断的に幅広く受け止めて相談支援をすることになりました。要綱改正により、業務内容を見直し、今まで以上に専門性を持った支援をして行く必要性を感じています。

新しい障がい者グループホーム等支援ワーカーを迎え、のだネットの体制は多少変化しますが、多様な相談に対して真摯に取り組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

## ワークショップ くすのき

副施設長 戸辺 泰介

日頃より弊事業所の運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年度は、新しい活動場所として準備を進めてきた3号館を、ようやく開くことができました。近年の課題であった活動空間の窮屈さが、これで若干ながら解消されました。

ただ、職員配置の都合から1、2、3号館の3箇所全てを稼働させるには至らず、2号館は休館している状態です。新年度も状況が変わる見込みは薄く、福祉業界全体の人材不足を改めて痛感させられています。

嘆いてばかりもいられず、前には進まなければなりませんので、現時点で持ちうるものを上手くやりくりして、提供するサービスの維持・向上に努めていかなければと日々考えております。

また、今年度の新規入所者は、野田特別支援学校からの卒業生の方を一名、お迎えいたしました。毎年ご利用のご希望をいただけるのは本当にありがたいことです。新しい仲間と気分を一新、皆で新年度も楽しく頑張っていきたいところです。

至らないことも多いかとは思いますが、引き続き皆様のご指導、よろしくお願い申し上げます。



## 相談支援センター いちいの木

相談支援専門員 中村 成彦

毎日、車で走っていると春の日差しが心地よい陽気になっているのを感じます。

現在、計画相談を受け持っている障がい者及び障がい児の方は併せて275名程になります。毎日、御自宅や事業所に訪問しています。このところ増えている相談としては、親が高齢になり、子の介助等が難しくなったというものです。世間でも話題になっている4070問題(子が40歳で親が70歳)、5080問題(子が50歳で親が80歳)が野田市でも増えている状況です。自宅での介助等が難しくなりグループホームや入所施設に入所(入居)させたいとの希望の方が多くいらっしゃいますが、現状、何処も空いていない状態なため、グループホーム等が空くまで、ヘルパーを利用している案件が多くあります。野田市内にグループホームはありますが数が少ないため、新しい施設及び事業所が設立するのを期待している状況です。野田市内では、就労継続支援A型と放課後等デイサービス(障害児のための学童事業所)の事業所は増えています。就労継続支援A型は軽度な方が利用する事業なため、重度の方が利用する生活介護事業所は何処も定員に達していて、新規や来年度特別支援学校を卒業される方の進路が心配です。野田市だけではなく、重度の方の入所先(入居先)や通所先になる施設又は事業所が足りていない状況です。今後、重度の方であっても行きたい事業所が選べるくらい、施設が増加してくれればと思っています。

## グループホームがえて

サービス管理責任者 佐々木 健志

木々もすっかり芽吹き、新緑の葉が茂る季節になりました。4月よりワークジョブくすのきと兼務ですが、新たに女性職員が配置され管理者を含めた3名体制で運営していくことになりました。

早いものでグループホーム担当になり5年目を迎えました。振り返るとあっという間の4年間でしたが、入居されている利用者の方も4歳年を取ったのだと気付きました。個別の支援も多岐に渡り、医療面・介助面などもこれから今まで以上に難しくなっています。

入居されている24名の生活を24時間365日、一生懸命支えてくれている世話人がいてグループホームが成り立っています。自分ではうまく思いや要求を伝える事が苦手な方が多いですが、何気ない仕草や会話から本人の希望や体調不良等を「感じる」「気づく」「考える」という事を普段から行っています。とても難しい仕事ですが、利用者の方の笑顔やありがとうの言葉を励みに毎日頑張っています。行事や外食、外出もたくさん行く事ができ、余暇活動の充実も図れてきました。利用者の方がグループホームでの生活を楽しめるよう、努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

## 金城さんありがとう

中核地域生活支援センター コーディネーター 金城 和子

この春をもちまして、定年退職となりました。これまで法人をはじめ、地域及び行政・関係機関の皆様のお陰と、心より御礼申し上げます。

くすのき苑の開設と同時に入職し、早いもので17年が経ちました。初代施設長の藤森氏とは学生時代の一年間を養成所で学んだ旧知の間柄、「野田の新設の施設に来ないか？」の誘いに「やっと福祉の世界に戻る！」と保育所勤務を辞め、「人生最後の職場にしよう」と野田の地に来ました。藤森氏の福祉への情熱、パワフルな仕事ぶりに息を切らせながら付いていくのがやっとの5年間でした。前相馬施設長との10年間は確かな福祉の理念を、日頃の姿勢から学ばせていただくと共に、仕事に真摯に取り組むことが信頼を得る第一歩であることを身をもって教えて下さいました。

平成16年10月に中核センターを受託して以来、未熟なコーディネーターに出来ることは相談に真摯に向き合う事でした。一緒に考え、泣き、笑った12年間は、行き詰まる度に「大した人間でもないのに、働かせていただいていることにまず感謝が先ではないか…?諦めずに一歩前へ踏み出そう！」と気を取り直したものです。関係機関の方には「体に気を付けてね」と声を掛けて頂き、相談に来た方から「金城さんに会えて良かった。会わなかったらどうなっていたか…。」と感謝され、この春就職したお子さんの母親から「一度は諦めていた職場に就職でき、入社式から笑顔で帰ってきました」と嬉しいメールが届きました。私が千葉県独自の中核センター事業に当初より携われたことは偶然ではなく、何かに導かれ野田に来たと思えるのです。一生の宝物である多くの方との出会いと、相談と言う大切な仕事をさせていただいたことに感謝申し上げます。4月以降も常勤コーディネーターとして従事させていただきますが、これまで以上に御指導の程よろしくお願い申し上げます。

## 12月15日～16日 1泊旅行 茂木方面

男7人1泊旅行！私達の笑顔に負けないくらいの気持ちの良い晴天でした。1日目は栃木県にある大谷観音で、有名な大谷石に刻まれた観音様と歴史を感じ、2日目のツインリンクもてぎでは、皆で運転型のアトラクションに乗って茂木の風を感じてきました。

伊藤 雅章



## 新年会

1月13日に新年会を行いました。苑内でもインフルエンザにかかってしまった利用者もあり、苑の中だけで行う新年会となりましたが、昼食では美味しいお寿司を食べ、書初めやカラオケを行う等、普段とは違った雰囲気を楽しみました。

片倉 美幸



## 節分

2月3日の節分の日、平和な作業の時間に突然怖い鬼がやってきました。利用者さん皆で力いっぱい豆を投げ、無事鬼を追い払う事に成功！その後は利用者さんも職員も『大きな怪我や病気なく、健康に過ごせますように』と願いを込め、歳の数だけ豆を食べました。

増淵 歩美



## ありがとうの会

くすのき苑に入社してから、職場の皆様には日頃の支援の場面だけでなく様々な場面で助けられてきました。その中でも、今回退職される3名の職員は、職場だけでなくプライベートでも食事会をしたり、遊ぶ機会がある方達だったので、退職を知った時には思わず泣いてしまいました。3人はいつも利用者さんに対して笑顔で丁寧な支援をされていたので、利用者さんだけでなく周りの職員にも笑顔を届けてくれました。そんな姿を見て「自分もあんな風に支援をしたいな」といつも思っていました。

4月から3人の笑顔が見られなくなることを寂しく思いますが、新しい職場でのスタートが3人にとって明るく幸せな道になることを祈っております。私もこれから3人のように皆さんに笑顔をお届けられる支援を目指して働きたいと思います。これまで、本当にありがとうございました。

齋藤 貴子



# 新任職員紹介



看護師  
樋口 明美

今年1月から看護師としてくすのき苑にお世話になっております樋口です。

皆さんのお役に立てるように、明るくがんばっていきたくと思っています。

よろしくお願いします。



事務員  
笹生 文乃

くすのき苑で働き始め1年が経ち、4月より正職員となりました笹生と申します。

皆さんのお役に立てるよう努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。



生活支援員  
田鍋 智枝

4月より、ワークショップくすのき、グループホームかえでにてお世話になっております。利用者の方、職員の方に教えて頂きながら、1日も早く、より良い支援が行えるよう、日々頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



生活支援員  
吉原 咲登美

温かく迎えてくださるいちいの会の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。利用者さんの気持ちを一番に考え、先輩方から学ぶたくさんの方の事を今後の支援に活かしていけるように頑張ります。よろしくお願いします。



生活支援員  
藤川 旭郎

4月より生活支援員としてくすのき苑で働いております藤川旭郎です。

まだ、分からない事も沢山ありますが、利用者さんを一番に考えた支援を行っていきたくと思っています。よろしくお願いします。



生活支援員  
霜田 侑弥

4月からくすのき苑の生活支援員として働くことになりました、霜田侑弥です。初めてのことでわからない事が多いですが、少しでも早く皆さんと仲良くなれるように、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

## 行事報告

1月

冬期帰省 12/28(水)~1/4(水)  
くすのき苑 新年会  
ワークショップ 新年会

2月

節分  
手をつなぐ作品展  
1泊旅行

3月

健康診断  
理事会・評議員会  
ありがとうの会



## ご寄付に感謝いたします

今年度も後援会よりご寄付をいただきました。おかげさまで、法人事業も円滑に運営されております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い致します。

## ● 編集後記 ●

今年は小さな目標を一つずつ達成していこうと決めました。あまり得意ではない「地道な努力」を積み重ねていきます。結果はまたいつか。

(伊藤)

今年度でついに私も4年目になります。年数を重ねても、新人さんが来ても、自分の慌たしさは増すばかりです。今年度は落ち着きを持って行動できればと思います。

(中山)

## いちいの会だより VOL.44

発行 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑  
〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121  
TEL:04-7120-6667 FAX:04-7120-6668

発行人 総合施設長 清本 健二郎

編集 広報委員会 中山・伊藤・中嶋

発行日 平成29年4月29日

E-mail kusunokien@nifty.com

H P URL:<http://www.ichinokai.com/>